

進路希望の実現と地域を支える人材育成を目指して

新潟県立佐渡総合高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、明治43年に佐渡郡新穂村・畑野村組合立佐渡農学校として開校し、その後、幾多の変遷を経て、平成13年に総合学科を設置する新潟県立佐渡総合高等学校として改組されました。本年度で創立109年目を迎える歴史と伝統を誇る高等学校であり、卒業生は、1万6千有余名を数え、佐渡島内をはじめ全国の各界に人材を輩出してきました。

本校は、佐渡島内で唯一、専門教育を受けることができる総合学科の高等学校です。普通教科・専門教科にわたって多くの科目が開設されており、生徒一人ひとりの夢を育て、それぞれの進路希望や興味・関心に応じた学びの機会を提供しています。1年次に基礎科目を、2年次以降は「人文・自然科学」、「農産・加工」、「環境工学」、「ビジネス・情報」、「生活福祉」の5系列（その他、選択科目の系列として「地域学系列」）の中から系列選択をし、それぞれの専門分野を学びます。

これまで、総合学科の特色を活かした様々な取組を推進してきおり、現在、佐渡産業教育の拠点校として、キャリア教育グランドデザイン「佐渡総合F S Tプラン」を策定・実施するとともに、3年間の継続した進路学習に取り組んでいます。生徒の進路実現を図るとともに、地域を支える人材育成を目指し、教職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、今後とも佐渡総合高等学校の取組について、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立110周年の節目に当たり

次年度（令和2年度）、本校は大きな節目となる創立110周年を迎えます。記念事業の一環として、昨年度、先行して中庭と正面玄関前の整備が行われました。また、令和2年10月には、記念式典及び記念講演会の開催を計画しております。

この機会に、本校の歩みを振り返り、創立の意義と使命を確認するとともに、今後、新たな歴史と伝統を積み重ねていきます。併せて、記念事業を通して、生徒の人間形成を図り、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度の育成に努めてまいります。

平成31年4月

新潟県立佐渡総合高等学校長 阿部 正一